

2026年度入試概要

中学校 JUNIOR HIGH SCHOOL

回数	第1回	第2回
日程	2月1日(日)	2月4日(水)
募集人数	70名(男子約35名 女子約35名)	50名(男子約25名 女子約25名)
試験科目	4科 国語・算数・理科・社会(国算 各100点)(理社 各50点)	
合格発表(Web発表)	当日22時(予定)	
出願資格	2026年3月に小学校卒業見込の者で、保護者のもとから通学できる者	

詳細はホームページ・募集要項でご確認ください

高等学校 HIGH SCHOOL

区分	推薦入試	一般入試
日程	1月22日(木)	2月11日(水・祝)
募集人数	男女合わせて80名	男女合わせて80名
試験科目	3科合わせた適性検査 計90分 英語・国語・数学(各50点) 書類審査 面接あり	3科 各50分 英語・国語・数学(各100点) 書類審査 面接なし
合格発表(Web発表)	1月23日(金)9時(予定)	2月12日(木)9時(予定)
出願資格	2026年3月に中学校卒業見込の者で、保護者のもとから通学できる者	

詳細はホームページ・募集要項でご確認ください

イベント日程

すべて要予約、詳細はホームページをご確認ください

中学校 JUNIOR HIGH SCHOOL

2026年度入試 学校説明会

- 小学6年生対象 ※配信は他学年も申し込み可能です。
- 第1回 6月7日(土) 14:00 ~
- 第2回 8月2日(土) 10:00 ~
- 第3回 10月11日(土) 14:00 ~
- 第4回 11月8日(土) 14:00 ~
- 第5回 11月29日(土)【問題解説会】14:00 ~

小学4・5年生対象 学校説明会

- 小学4・5年生対象
- 2026年2月21日(土) 14:00 ~

文化祭

9月27日(土)・9月28日(日)

[学校所在地]



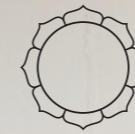
[主要駅からの所要時間(登校時)]



明治大学付属 世田谷中学校・高等学校

MEIJI UNIVERSITY SETAGAYA JUNIOR HIGH SCHOOL AND HIGH SCHOOL

〒156-0043 東京都世田谷区松原2-7-34 TEL.03-3322-6331 FAX.03-3327-8987
(現 日本学園中学校・高等学校 2026年4月校名変更予定)



明治大学付属 世田谷中学校・高等学校

MEIJI UNIVERSITY SETAGAYA JUNIOR HIGH SCHOOL AND HIGH SCHOOL

2026年 共学スタート



Setagaya

SCHOOL GUIDE
2026

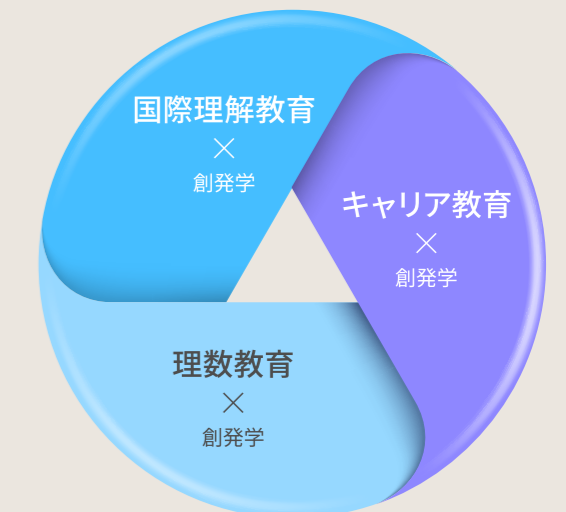
(現 日本学園中学校・高等学校 2026年4月校名変更予定)



[教育理念]

人は得意な道で成長すれば良い

本校では、生徒が主体的に学び、成長できる環境を提供します。そして基礎学力と創発力の育成により、社会が求める人材像を具現化し、生徒の将来の可能性を大きく広げます。



[教育の柱 (グランドデザイン)]

本校では、「国際理解教育」「キャリア教育」「理数教育」を教育の柱(グランドデザイン)とし、次の3つの能力を6年間の体系化したカリキュラムによって身に付け、豊かな人間力とともに、高い基礎学力とそれを応用できる能力を養います。

- 1 自ら課題を見つけ、その課題に向き合い考え抜く力
- 2 グローバル社会の中で自分を表現するコミュニケーション力
- 3 情報化社会における最先端技術に対応し応用する力

2026年、明治大学附属世田谷中学校・高等学校

START!

互いの伝統が融合して
新たな教育のステージを創出する
目指すは、「個」を重んじ、豊かな個性を育む教育の実践

国際理解教育

EDUCATION FOR INTERNATIONAL UNDERSTANDING



MGP (明大世田谷グローバルプログラム) で多様な価値観を理解し、
尊重・共生できる力と協働できる力を養う

TGG (Tokyo Global Gateway)

英語の授業やネイティブ講師から学んだことを発信する場です。英語オンリーのプログラムに参加し、英語で学んでいく楽しさを再発見します。



ブリティッシュヒルズ (中2全員)

日常と異なる英国の雰囲気の中で行う宿泊行事です。日頃学んだ英語を使う体験を通して、これからの英語学習への意欲を高めるきっかけとなります。



オーストラリア語学研修 (中3全員)

約2週間、オーストラリアでホームステイをして現地校で学びます。英語力と共に問題解決力を伸ばします。異文化体験をして日本を見る新しい視点を身につけて成長します。



オーストラリアStudy Abroad (高1希望制)

3学期の3ヶ月間にオーストラリアへ留学をします。多感で柔軟な時期に豊かな自然の中で多文化に触れ、多様な視点や考え方を体験、人としても大きく成長するプログラムです。



海外語学研修 (希望者)

現地の語学学校で英語演習を受けます。マンツーマン授業を中心に英語漬けの環境で英語の運用力を鍛えます。週末には様々なアクティビティもあります。



オンライン英会話

中学1年生から高校2年生まで、英検前を中心に授業中にオンライン英会話を実施しています。外国人講師と1対1で会話し、英会話だけでなく異文化に触れる機会にもなっています。



TOPICS (計画中)

長期留学

希望者が高校在学中に長期の留学をして、その後の多様な進路を築いていくきっかけとなります。グローバルな視点で活躍できるような生徒に育ってほしいと期待をしています。

イングリッシュキャンプ

世界各地から日本に留学しにきている学生が講師となって、プログラムを進めていきます。第二言語が英語のもの同士でのコミュニケーションで、英語を使って世界とつながる力を感じていきます。



知識を学ぶことだけにとどまらず、
これからの時代に必要とされる理数的な考え方を身につける

理数の観点でとらえる

解く楽しさから、考える楽しさへアップデートすることで、論理力や多角的なものを見方を身につけ、身のまわりの自然現象や人間生活との関わりを、文理を問わず科学的な視点でとらえる力を養います。



実験により、触れながら学ぶ

実物やモデルを用いて、実際の現象をイメージしながら学習します。実験を行いながら、正確に測定・観察する技能、得られたデータを分析する手法やまとめ方、実験結果を発表する方法を身につけます。



数学という言語活動

数学の基礎を固めたら、説明する技術を身につけます。「数学は言語」。自分で書いた数式を相手にしっかり伝える力が重要です。問題を解くだけでなく、思考力、表現力を身につけます。



ICT機器の活用

図形やグラフなどの対象を見える化することで思考の補助が行えます。数値の処理・シミュレーション・モデル化・解析などのデータサイエンス理論を理解しつうえで扱います。



TOPICS

理数を楽しむ

物事を推測したり問題を解決するときに、理数がいかに有用なものかを実感することで論理的思考・数理的処理能力を養います。実験・観察や施設見学などの体験活動を通して驚きや感動を得ることで、理数への興味・関心をより深めます。



学びの先を体験する

明治大学との連携行事を通して理数科目への学習意欲・目的意識を高め、その先に続く実践の場を体験します。

※写真は理工学部建築学科学者と本校生徒が共同で行っている本校1号館3Dスキャンプロジェクト





将来を見据え、 夢の実現に向けて主体的に取り組む力を養う

明治大学とのつながり

和泉キャンパス見学や生田キャンパス平和教育登戸研究所資料館見学や公開授業など、複数回にわたる明治大学と連携したキャリア教育を展開しています。



創発フィールドツアー(中2)

第一次産業を中心とした、その地域の課題を見つめ現地で体験し、解決方法について考えます。ディスカッションを通じてまとめ、プレゼンテーションを行い、さらに現地の方からフィードバックをいただき、学びを深めます。



キャリア講演(中3)

「仕事」について様々な角度からの刺激を受け、さらには漠然と描いていた職種の専門性を知ることにより、学部・学科にこだわる大学進学を目指します。



学部・学科を考える(高1)

総合大学である明治大学10学部の学部長による学部紹介や、医学・薬学・看護・スポーツ系統別説明会など、将来に向けて視野を広く持つ機会を設けています。



国内選択修学旅行(高2)

修学旅行は自らの創造力を発揮する大切な機会です。自分が選択した研修先の事前学習を行い、現地での体験を通して学びを深めます。研修後、プレゼンテーションにより学びを共有します。



出張講義

中学・高校、学年を問わずに複数回にわたり様々な分野の大学の先生をお招きして講義していただき、研究機関としての大学を肌で感じるプログラムです。



明大世田谷の教育

EDUCATION IN MEIJI UNIVERSITY SETAGAYA

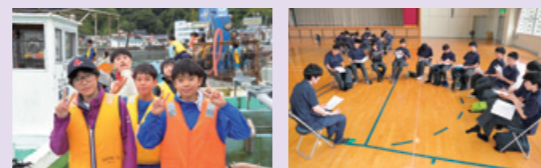
※現在行っているプログラムの一部になります。



課題発見力と問題解決力を養うことを目的に、
 課題探究学習を実施し、課題発見力や調査した内容をまとめる
 2003年にスタートした本校オリジナルのプログラム
 集約力、他者と協働できる総合的な問題解決力を養います。

■ 中学プログラム

中学では数多くの体験をし、そこでの学びを発信します。社会で活躍する方々によるキャリア講演等、自らのキャリアについて考えます。さらに自分の興味関心に基づき、それが社会にどう役立つのか考察し、まとめ、発表を行います。



■ 高校プログラム

高校では自己探究に始まり、自分の興味関心と社会との接点を考え、自分にできるアクションを考えます。その中で、職業人としてどうしても譲れないキャリア・アンカーを涵養し、人生100年にわたるキャリア・ライフ・デザインの礎にします。



創
発
学

創
発
学



- 奥多摩森林学習
- 世田谷フィールドワーク
- 創発フィールドツアー



- プリティッシュヒルズ
- キャリア講演
- オーストラリア語学研修



- 文化祭(企画・運営・実行を生徒自ら行う)
- 1DAY創発
- 創発フェスタ



- 国内選択修学旅行
- キャリア・デザイン



高
大
連
携

高
大
連
携



- 明治大学和泉キャンパス見学
- 明治大学平和教育登戸研究所資料館見学
- 出張講義



- 明治大学特別進学講座
- 明治大学公開授業
- 医学・薬学・看護・スポーツ系統別説明会
- 出張講義



個性を尊重し、確かな人格を持った人材の育成に努める

学校全体が学びの場

明大世田谷は「個性を尊重した人材の育成」に努め、知的側面だけでなく人格の育成に重きをおき、道徳性や社会性を育みます。多様な価値観の育成と自己創造力の育成により、得意を見つけ得意を伸ばす場として、学校全体が学びの場となり、人間力の育成に努めます。

基礎基本を徹底的に

高い学習目標の達成には何よりも「基礎学力」が欠かせません。明大世田谷では日々の学習を習慣化し、生徒一人ひとりの主体的な学びにより幅広い知識と深い理解力を涵養し、「基礎学力」を育成します。基礎基本を大切に、自らの強みとなる発展・応用へとつなげます。

多様な授業展開

生徒一人ひとりの主体的な学びをフォローアップするのが多様な授業展開です。文系・理系の垣根を越えた分野を学び、自らの学びを発見し、多角的な視点の育成により、複雑な社会問題に対して様々な視点からアプローチできる力を養い、かつ公平・公正な判断力も身に付けます。

自走する力を大切に

明大世田谷は、生徒一人ひとりが様々な事象に関心を持ち、自ら問いを立て、解決策を模索する力を培い、創造性豊かな人材を育成します。様々な行事やプログラムを通して、リーダーシップとフォロワーシップのバランス感覚や変化に柔軟に対応できる思考力・判断力・行動力を育みます。

CURRICULUM

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	
1年	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術・家庭	英語	道徳	H	R																						
2年	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術・家庭	英語	道徳	H	R																						
3年	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術・家庭	英語	道徳	H	R																						

中学創発学 創発学で未来をこの手に

本校独自のプログラムである創発学は豊富な体験プログラムを通じて課題発見力、問題解決力を養います。

幹にふれる／自ら切り拓く

職業の幹となる第1次産業のフィールドワークから、世界のかたちを考える第一歩を踏み出します。教科書やインターネットでは書かれていなかったこと、気付かなかったことを見つけにいきます。体験したことは経験に変えるべく調査・取材を行いグループや個人でプレゼンテーションをします。体験を経験に変えるプログラムと並行して行うのがキャリアエデュケーションです。様々なプログラムから自分の最終目標のためのマイルストーンをどのように置くかを考えます。



「循環と拡大」で自らを切り拓く

事前学習・体験・事後学習のサイクルを行うことで調査・取材、まとめ、発表力をアップデートします。教室では感じることでできない刺激と体験で好奇心の核をつくり、咀嚼し、課題や問題点をまとめ、新しい創造へつなげます。仲間と相互発表することで、知的好奇心を高め、学ぶことの楽しさを見出し、「創発力」を育みます。



高等学校の学び | LEARNING IN HIGH SCHOOL



自ら学んで課題発見力と問題解決力を育む

積極的に学んで夢を現実へと導く

学習とは、単なる知識の習得と集積を目的とするものではありません。習得し、集積させた知識をどのように知的に生かしていくのが大切です。知的探究心を育てつつ、自立心を育み、社会人となった時、世の中に貢献できる人材の育成に重点をおいています。

基礎から発展まで

発展的な学習には基礎学力が欠かせません。基礎学力の定着をおこない、どのような分野においても基礎から発展まで、生徒それぞれの個性に合わせた学習方法で各自の学力の伸長を図り、そして高校時代の学習を大学でのさらなる専門的な学習につなげます。

充実の授業

日々の学習を通して、幅広い知識と深い理解力を涵養し、「基礎学力」を育成します。文系・理系の垣根を越え、英語はもとより数学、理科、国語、社会など、幅広い分野の基礎学力をバランスよく身につけ、複雑な社会問題に対して多角的な視点からアプローチできる力を養うことを目的とした授業を展開します。

模試と検定

学力における自分自身の立ち位置を知ることは、その後の自分自身の学習に対する取り組みに大きく影響します。結果に一喜一憂するだけではなく、自身の学習の方向性を考えるきっかけとして、模試と検定を活用していきます。

CURRICULUM

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33
1年	現代の国語	言語文化	数学I	数学A	地理総合	歴史総合	生物基礎	物理基礎	体育	保健	美術	音楽	英語コミュニケーションI	論理・表現	情報I	総合探究	H	R															
2年	文系	論理国語(文学国語含む)	古典探究	数学II	数学B	公共	地理探究	地学基礎	体育	保健	英語コミュニケーションII	TOEFLプラスI	家庭基礎	総合探究	H	R																	
	理系	論理国語	古典探究	数学II	数学B	数学C	公共	化学基礎	生物演習	物理演習	体育	保健	英語コミュニケーションII	TOEFLプラスI	家庭基礎	総合探究	H	R															
3年	文系	論理国語(文学国語含む)	古典探究	数学C	地歴演習(日本史)	地歴演習(世界史)	地歴演習(地理)	政治・経済	体育	英語コミュニケーションIII	TOEFLプラスII	総合探究	H	R																			
	理系	論理国語	数学III	数学C	物理	化学	生物	体育	英語コミュニケーションIII	TOEFLプラスII	総合探究	H	R																				

高校創発学

MAKE ME HAPPY, MAKE YOU HAPPY!

自己理解から自分にとっての幸福感を見つめなおし、他者理解から共存・共創し、共に未来を形にしていきます。

自分で創る「学び」

「丸一日あげるから、興味があること、今までできなかったことに取り組んだり、見てみたいものを見たり、してきてごらん」と言われたら、あなたは何をしますか。「1DAY創発」プログラムは、自ら決めた取材対象にアポイントメントを取り、自分で活動内容を考え、計画を立て、実際に人に会い、モノを見て、自分のテーマに向き合います。戻ってきてから体験をまとめて発表を行います。



自分の「得意」が明日を創る

自発的な学びへのアプローチとして、この一年間の学習の成果についてプレゼンテーションする「創発フェスタ」。自分の「好きなこと」だからこそ、伸びしろとして見えてくる課題に真剣に向き合うことができます。大学、そしてその先の生涯にわたる学びへとつなげていきます。



非認知能力のアップデート

日々の学習の中で培われる力は一般的に認知能力とされ、定期試験などで数値化され見える化されています。一方で非認知能力には数値化されにくい自己理解・他者理解や行動力・達成力などがあります。

本校では外部のアセスメントにより非認知能力の数値化を行い、創発学で身につく力を数値化しています。



英語

ENGLISH

国際社会において
人のために活躍できる人材の
育成を目指す

グローバルな視点に立って物事を考え、積極的にコミュニケーションをとる姿勢と能力が備わっている生徒を育てたいと考えています。そのため、「基礎・基本」を徹底して学び、学んだことを実際に活用できるレベルまで高めることを目標としています。中学校では体系的に文法を学びながら、英検準2級レベルの英語力の習得を目指します。高校ではTOEFL juniorを導入し、留学に果敢に挑戦できる英語力を養います。ネイティブスピーカーによる授業やオンライン英会話を通して、4技能のバランスを重視した授業展開をしていきます。



国語

JAPANESE

言葉を学び、
他者の心とつながる

私たちの日常には、あらゆる場面に言葉があふれています。人は思いを言葉にし、心を伝え合うことによって他者とつながってゆくことができます。過去の人々の思いや文化も、言葉があって初めて私たちに伝わるのです。国語科では、そうした言葉を通じて他者を理解し、自己を表現する力を身につけていきます。また、読書を楽しむ習慣をつけてほしいと考えており、本の紹介スピーチやビブリオバトルなども行っています。



数学

MATHEMATICS

数学の
魅力・美しさを通じて
豊かな人間に

「答え」は一つであっても、そこにたどり着く道は何通りもあることが数学の大きな特徴であり、楽しさでもあります。授業では単に答えを求めだけでなく、なぜそのようになるのかを考え、解き方の工夫についても学びます。このような学習活動を通して、自分の考えを論理的、かつ客観的に相手に伝える力、効率良く問題を解決する力、データを正しく読み取り、分析する力、発想力、粘り強さなど、様々な力を培います。



社会

SOCIAL STUDIES

確固たる知識に基づき、
かつ主体的に考え発信する
国際人を育てる

中学でも高校でも、地図・史資料・アプリなどを
用いて生徒に
自ら考えさせる
授業を展開し、社会
に関する確固
たる知識を身に
つけていきます。さら
に身につけた知識
を活かして、「なぜ
そうなるのか?」「どうしたら
解決できるのか?」などの課題に
対して自分なりの仮説・意見を
発信する機会、レポートや小論
述を書く機会を用意しています。
知識をもとに主体的に考え発信
する能力を身につけ、国際人として
必要な資質を育成します。

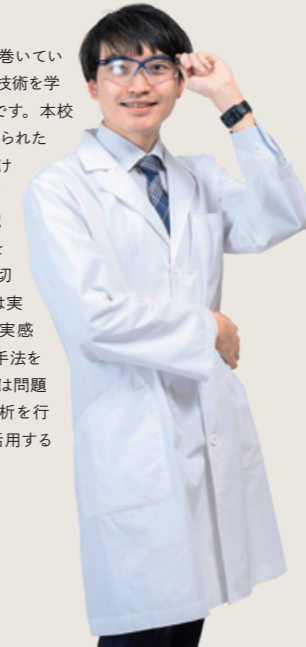


理科

SCIENCE

結果を受け止め、論理的に探究し、
知識を活用できる
人材の育成

理科とは、私達を取り巻いている自然の事物・現象や技術を学び、活用していく学問です。本校では、観察や実験で得られた結果をありのままに受け止める、結果と知識を論理的に結びつけ探究する、理解した知識を活用する、の3点を大切にしています。中学では実験を通じて『なぜ?』を実感しながら、実験・発表手法を身に付けます。高校では問題演習や実験結果の分析を行い、知識を論理的に活用する力を養います。



音楽

MUSIC

様々な音楽に触れ
自ら表現する力を培い
生活を豊かにする

人生において音楽は、どんな時も私達に寄り添ってくれる大切なものです。基礎にあたる「表現」と「鑑賞」の仕方を学び、先人の作り上げた芸術を生活に役立てる力を養います。歌唱やミュージックベル、ギターの実習授業を通して基礎を学び、技術を深め、表現することの大切さを身につけます。また、様々な楽曲の鑑賞を通じて、音楽史をはじめ、作曲家がその曲に込めた表現を考察し、豊かな感性を育むことを目指した授業を行います。



SUBJECTS AND TEACHERS

— 教科と 教員 —

美術

ART

芸術は
「自分そのもの」

芸術は、出来上がったものにそれほど意味はありません。自分の感動を表現する「体験」自体が芸術であり、生きる喜びです。周りの風潮や意見に流されず、新たな世界観を発見することが大切です。スマホや生成AIなど、作られたものを受け取る事が当たり前の現代。悩みながらも、手と心を動かし続けて自己と向き合うことが、便利になりすぎた今を生きる若者にとって必要な時間なのではないでしょうか。生み出す喜びや苦悩を知ることが、豊かに生きるための第一歩です。



保健体育

HEALTH & PHYSICAL EDUCATION

明るく豊かで活力ある
生活を営む基礎を築く

約80年ある人生を健康で充実したものにするためのヒントが、保健体育の授業にはちりばめられています。体育分野では体づくり運動、球技、器械体操、陸上競技、武道などを通して、運動能力を高めるとともに集団行動の在り方を学びます。保健分野では私たちが直面している健康や環境の問題を学び、健康を保持増進するための資質や能力を育成します。



情報

INFORMATION

15年後も役立つ
情報の力をつける

現在の社会では、「情報」に関わらずに生活することはできません。「情報」と一言で言っても「情報モラル・問題解決・デジタル化・プログラミング・ネットワーク・プレゼンテーション」と、様々な内容に触れていきます。しかし、これらの内容は即時的に役立つだけではなく、考え方や発想技法などこれからも役立つ内容にもなり得ることで、コンピュータの知識以外にも、五感を使って、様々な経験を積んでいきましょう。



技術

TECHNOLOGY STUDIES

創造力と
問題解決力を育む

技術科は、単なるものづくりではなく、創造力と問題解決能力を育む教科です。作品に使用される素材(資源)の特徴や産地を探究することで、地球環境や国際社会への理解を深めます。試行錯誤を乗り越え作品を完成させる過程で、達成感と自信を身につけます。さらに、教科横断的な学びを通して、情報やコミュニケーションなど、将来役立つ実践的なスキルを習得します。技術科で培った創造力と問題解決力は、あらゆる分野で活躍できる人材へと成長する基盤となります。



家庭

HOME ECONOMICS

何歳になっても、
きっと役に立つ

家庭科は女性が教える教科であり、裁縫や調理をする教科だと思っている人が多いのではないのでしょうか。ですが、既に家庭科は男女必修になってから20年以上経っていて、現在は資産運用まで単元に入ってきています。実は単純な教科ではなく、様々な分野が混じっているのが家庭科です。家庭科の目標は、生徒たちが日常生活や将来の自立に役立つ知識や技術を身につけることです。家庭生活における「身近なもの」や「当たり前のこと」に隠れているたくさんの驚きを見つけていきましょう。



創発学

INNOVATIVE STUDIES

自己実現と他者のために、
創造・発信する力を育む

創発学の授業では、本校のスクールアイデンティティである、「人は得意な道で成長すればよい」を具現化するために、自分を見つめ、興味を深掘りしながら、自分の「得意」を生徒と共に模索していきます。テストの成績などの数値化される認知能力を土台として、自己理解や他者理解を深め、物事を実現するために必要な自発性や復元力といった非認知能力を身につけます。知的好奇心を高め、学ぶ楽しさを発見することで得られる「自己創造力」をオリジナルプログラムを通じて育みます。



UNIFORM

— 制服 —

明治大学付属生としての自覚を持てる気品と、歴史と伝統を感じさせ、知性あふれる正統派ブレザースタイルの制服です。
機能性も重視し、着心地の良いよう細部までこだわったデザインとなっています。



ブレザースタイルの正装（正制服）は式典時に全員が揃って着用します。普段は様々なオプションアイテムで気分や気候に合わせて自分らしいスタイルを自由にコーディネートすることができます。



通学カバンはスクールバッグ型・リュック型から選ぶことができます。どちらも機能的で使いやすくなっています。

FACILITY

— 施設 —

新宿・渋谷から10分以内、明大前駅から徒歩5分の利便性の高いロケーションです。
自然豊かな緑に囲まれた、学習に最適な教育環境です。



- A** **ラーニングcommons** LEARNING COMMONS
校内イベントや委員会活動など、生徒が主体的・自発的に活動できるスペースです。
- B** **コミュニケーションスペース** COMMUNICATION SPACE
広い廊下にはテーブルも置かれ、積極的なコミュニケーションの場にもなります。
- C** **ランチ&スタディールーム** LUNCH AND STUDY ROOM
大きな窓から差し込む光で明るく開放的です。大画面モニターも設置されます。
- D** **ラボラトリー** LABORATORY
科学的な思考の育成に欠かせない基礎実験を行う実験室が配置されています。
- E** **1号館ラーニングcommons** LEARNING COMMONS
国の有形文化財である歴史ある1号館に新しくコミュニケーションスペースができます。

DAILY LIFE

— 1日の生活 —

明大前駅徒歩5分の閑静な住宅地の緑豊かな敷地で、
充実した学校生活を送ります。



8:20 登校

朝は8時20分までに登校します。月曜から土曜まで週6日間授業があります。



8:40 午前の授業

午前には50分授業が4限あります。快適な教室で集中して授業を受けます。



12:30 昼休み

お弁当を教室で食べる人、ランチルームを利用する人、思い思いに過ごします。



13:10 午後の授業

午後は2時間(水曜は1時間、土曜は午前中のみ)授業。科目により専門教室で授業を受けます。



15:10 SHR

1日のまとめや連絡伝達を行い、当番制で教室等の清掃を行います。



15:30 部活動・下校

どの部活動も活発に活動しています。下校時間は18時30分となっています。

CLUB ACTIVITIES

— クラブ活動 —

同じ目標を持つ仲間と切磋琢磨して生まれる一生涯の友情と絆



運動部

- 硬式野球部*
- サッカー部
- バスケットボール部
- バレーボール部
- 柔道部
- トライアスロン部
- 硬式テニス部
- 軟式野球部
- 陸上競技部
- 山岳部
- 剣道部
- 水泳部

文化部

- バドミントン部
- 自転車部 (MTB)
- フットサル部*
- ダンス同好会*
- 吹奏楽部
- 美術部
- 鉄道研究部
- 社会科研究部
- 軽音楽部
- 囲碁将棋部
- 為替株式学習部
- 映画製作研究部
- 表象文化研究部
- モノポリ部
- 料理・焼き菓子部
- 文芸同好会
- ESS
- Emergency同好会
- サイエンスプロジェクト同好会
- 数学クラブ
- 落語研究同好会
- 書道同好会

※：高校のみ

ANNUAL EVENTS

— 学校行事 —

学園生活を鮮やかに彩るかけがえない思い出



April
4

- 入学式
- 始業式
- 新入生オリエンテーション
- 健康診断

May
5

- 中学校外学習
- 中間試験
- 体育祭

June
6

- 芸術鑑賞教室
- 明治大学
学部公開授業 (高3)

July
7

- 学期末試験
- 終業式
- 夏期講座
- 創発フィールドツアー (中2)
- TGG (中1)

August
8

- 各部活動合宿
- 夏期講座
- 海外語学研修 (希望者)

September
9

- 始業式
- 文化祭 (2日間)

October
10

- 中間試験
- マラソン大会

November
11

- 出張講義
- 特別進学講座 (高1)

December
12

- 学期末試験
- 世田谷フィールドワーク (中1)
- プリティッシュヒルズ (中2)
- 1day創発 (高1)
- 修学旅行 (高2)
- 冬期講座
- 終業式

January
1

- 始業式
- オーストラリア・スタディ・アブロード (高1希望者)
- 研究発表 (中3)

February
2

- 景仰の日
- 学年末試験

March
3

- オーストラリア
語学研修 (中3)
- 創発フェスタ
- 卒業式
- 修了式

※学校行事に関しては変更する可能性もあります。

MEIJI UNIVERSITY OVERVIEW

「個」を強くする大学
— 明治大学 大学概要 —

学部・学科	
法学部	法律学科
商学部	商学科
政治経済学部	政治学科／経済学科／政策学科 ^{※1}
文学部	文学科／史学地理学科／心理社会学科
理工学部	電気電子生命学科／機械工学科／機械情報工学科／建築学科／ 応用化学科／情報科学科／数学科／物理学科
農学部	農学科／農芸化学科／生命科学科／食料環境政策学科
経営学部	経営学科／会計学科／公共経営学科
情報コミュニケーション学部	情報コミュニケーション学科
国際日本学部	国際日本学科
総合数理学部	現象数理統計学科 ^{※2} ／先端メディアサイエンス学科／ ネットワークデザイン学科

大学院
■ 法学研究科
■ 商学研究科
■ 政治経済学研究科
■ 経営学研究科
■ 文学研究科
■ 理工学研究科
■ 農学研究科
■ 情報コミュニケーション研究科
■ 教養デザイン研究科
■ 先端数理科学研究科
■ 国際日本学研究科
■ グローバル・ガバナンス研究科

専門職大学院
■ ガバナンス研究科
■ グローバル・ビジネス研究科
■ 会計専門職研究科
■ 法務研究科

※1 2026年度より地域行政学科の募集を停止し、政策学科への募集を開始予定です。(2025年3月現在構想中。名称その他計画に変更が生じることがあります。)
※2 2026年度より現象数理学科から現象数理統計学科へ学科名称を変更予定です。(2025年3月現在構想中。名称その他計画に変更が生じることがあります。)

駿河台キャンパス



対象：文系学部 3・4年
都心型大学「明治大学」の本拠地。創立120周年記念館「リノビータワー」は各種設備を備えた23階建ての校舎。

■ JR「御茶ノ水駅」徒歩 3分 ■ 丸の内線「御茶ノ水駅」徒歩 4分 ■ 千代田線「新御茶ノ水駅」徒歩 5分
■ 半蔵門線、都営三田線、都営新宿線「神保町駅」徒歩 8分



対象：大学院
「世界に発信する最先端の研究拠点と陶冶の場」をコンセプトとした環境に配慮した17階建ての校舎。

和泉キャンパス

対象：文系学部 1年・2年／大学院
2022年に誕生したラーニングスクエア(右写真)は、グループボックスなど学生の学び・交流を促進する空間が多く設けられている。

■ 京王線、京王井の頭線「明大前駅」徒歩 5分



生田キャンパス

対象：理工学部／農学部／大学院
緑豊かな生田キャンパスは、理系の学生や大学院生が学んでおり、最新の実験・研究設備が整っている。新校舎「センターフォレスト」が2025年春竣工・供用開始予定。

■ 小田急線「生田駅」徒歩 10分



中野キャンパス

対象：国際日本学部／総合数理学部／大学院
国際化、先端研究、社会連携の拠点キャンパス。他大学、商業施設、公園と隣接。他キャンパスとのアクセスも良好。

■ JR・東武線「中野駅」徒歩 8分



[校長先生メッセージ]

得意な道を活かし 世界で活躍できる人格者を育てます

創立者杉浦重剛先生は、国を作る上で確かな人格を持った人材の育成が不可欠であると考え130年以上にわたり「個性を尊重した人格者の育成」に努めてきました。このような人物を育てるために、本校では生徒一人ひとりが主体的に学び、成長できる環境を提供することを目指すとともに、時代を超えた普遍的な価値を新たに発見できる「基礎学力」と「創発力」を育成しています。五感を通じて様々な体験学習を行う本校独自の創発学は、自身の疑問や社会の課題を発見し問題解決力を養い、科学的視点、社会理解と発信力、またキャリア開発力の育成に活かしています。中でも国際理解教育は「グローバル」(グローバル+ローカル)を念頭に、自国の文化はもちろん異文化の理解を深めて多様な価値観を尊重し、世界の人人々と協働できる世界市民と呼ばれるにふさわしい現代社会が求める人格者を育て、生徒たちの将来の可能性を大きく広げていきます。

校長 谷口 哲郎 *Tetsuro Taniguchi*

[建学の精神]

身心清潔にして、義を見て明決する者は、大日本人と称するを得。身も心も清らかで、筋道の通った正しい行いをし、世界の人と交わり活躍できる人物となれ。

学校法人日本学園の歩み

- 1885年 杉浦重剛 東京英語学校として神田錦町に創立
- 1892年 半蔵門外の麹町山元町に移転 日本中学校と改称
- 1916年 豊多摩郡淀橋町角管(新宿区)に新築移転
- 1936年 世田谷区松原(現在地)に新築移転
- 2009年 1号館が国の有形文化財に登録
- 2026年 明治大学付属世田谷中学校・高等学校として共学スタート



創立者
杉浦 重剛先生



東京英語学校校舎



現在の学園風景

明治維新期の英才として知られる杉浦重剛が、生涯最も力を注いだのが青少年の教育です。杉浦は教育とは単に知識を得ることではなく、人間形成であると考えていました。だからこそ、教える立場である自らを厳しく律していました。「人を待つに寛 身を持するに厳」生涯の座右の銘としたこの言葉には、杉浦の教育にかけた情熱があらわれているのです。また杉浦は、若者たちに対し「世界を怖れるな、唯自己を恐れよ」と話し、臆することなく堂々と世界に対峙し活躍せよ、そして真に危惧すべきは自分自身の慢心や怠惰であると説きました。将来の世界を担う若者たちに向けた厳しくも温かい目をそこに読み取ることができます。

文化勲章受章者

- 佐佐木信綱(文・博・歌人)
- 横山大観(画家)
- 岩波茂雄(岩波書店創立者)
- 長谷川如是閑(評論家)
- 永井荷風(作家)
- 鈴木虎雄(文・博・中国文学者)
- 鏑木清方(画家)
- 甘利俊一(東京大学名誉教授、国立研究開発法人理化学研究所名誉研究員)

著名人の詳細はこちら

